



靴のお手入れ方法

まず、サイズの確認のために室内にてお履きください。

万一、サイズに不安を感じられる場合は、戸外でお履きになられる前にご連絡ください。

・靴をおろす前に

工場から出荷され、箱にはいったままの靴は少々乾燥気味になっています。履く前にクリームを塗って下さい。
革に栄養分を与え、保護をし、汚れを付きにくくします。

・靴を大事に履く為に

- 1.ひも靴の場合、必ずひもをゆるめ、靴べらを使って履いて下さい。
かかとや甲の部分の型崩れや革切れの原因となり、靴の寿命を短くします。
- 2.1日履いたら2、3日は休ませ、ローテーションさせることを心掛けて下さい。

・普段履いた後は

- 1.アッパーは柔らかい馬毛のブラシでブラッシングして汚れや埃を落とし、乾いた布で空ぶきして下さい。
靴底はヘラ等を使い、泥や汚れを落として下さい。
- 2.木製のシューツリーを入れ保管をして下さい。湿気取りと型崩れの防止、トゥスプリングの復活になります。

・定期的なお手入れ(4・5回に1回くらいを目安に行ってください。)

- 1.ブラッシングをして汚れや埃を落として下さい。
汚れや古いクリームは必要に応じてクリーナーを使って落として下さい。
- 2.アッパーと同色か少し薄い色のクリームをウェス(Tシャツの古いもの等、柔らかい布)に少量取り、薄く伸ばして下さい。
- 3.ブラッシングして、革全体にクリームをよくなじませて下さい。
- 4.少し時間を置いて、柔らかい布で空ぶきして下さい。余分なクリームを取り除き、革に光沢を出します。

・水に濡れた場合

- 1.アッパーをタオル等の吸湿性のいい布で、たたくようにして水分を吸い出して下さい
(革を傷めるので擦らないで下さい)。
- 2.新聞紙等を詰め換えながら中の水分を抜き取り、ある程度乾いたらシューツリーを入れ、風通しの良い所で陰干しして下さい。
ソールに湿気が残らないように立てかけたり、下に新聞紙等の紙を敷いて下さい。
- 3.完全に水気が無くなってから、クリームを少し多めに塗ります。
濡れたまま放置しておくで革の硬化をまねき、ひび割れや型崩れ、湿気によるカビの発生の原因となります。
また革を傷めるので、直射日光の当たる場所に置いたり、ドライヤーの熱を利用した乾燥は避けてください。

・スエード等起毛素材のお手入れ

- 1.履く前に必ず防水スプレーを吹きかけて下さい。
- 2.履いた後は、ブラッシングで汚れや埃を落として下さい。
- 3.ブラッシングで落ちない汚れは、スエード専用の消しゴムで軽く擦るように落として下さい。
- 4.全体に汚れや色褪せが目立つ時は、スエード専用の同色のカラースプレーを使い補色して下さい。